

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和3年6月1日（火）16時30分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、星主任技術研究調査官、木原室長補佐

技術研究組合 国際廃炉研究開発機構（テレビ会議システムによる出席）

開発計画部 担当者 1名

研究管理部 担当者 2名

総務部 担当者 1名

5. 要旨

○技術研究組合 国際廃炉研究開発機構（以下「IRID」という。）で実施されている東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所構内で採取した瓦礫、伐採木の放射能分析や廃炉・汚染水対策事業費補助金（固体廃棄物の処理、処分に関する研究開発）などの研究開発で得られたデータや研究成果の内容について、資料に基づき、原子力規制庁から確認した。

○これに対して、IRIDから、瓦礫、伐採木の放射能分析等については、日本原子力研究開発機構のデータベース（FRAnDLi：Fukushima Daiichi Radwaste Analytical Data Library）に関連するデータを登録、公開している旨の回答があった。

○原子力規制庁は、IRIDの研究開発で得られたデータや研究成果の内容の中には、福島第一原子力発電所事故の調査・分析の観点から有用なものがあると考えており、具体的な情報等を確認していきたいことを伝達し、IRIDの承諾を得た。今後、情報交換の方法等を検討するミーティングの機会を設けることおよびIRIDの研究成果に係るデータベースに関しても議論していくこととした。

6. 資料

・ IRID HP公表資料

以上